

## 第15回原稿 暑熱対策の話

(有)シェパード 獣医師 松本大策

暑い日が続きますが、皆さんも牛さんたちもお元気ですか？ 県はひどい雨だったというニュースが全国版で流れていたのが心配していましたが、ABさんから、牛の農場はさほどの被害がなかったとのこと伺いホッとしているところです。

さて、夏は暑いのが当たり前みたいですが、最近の暑さはまたひと味違いますね。特に今年は積算気温が高いので、今のうちにしっかりと夏場の対策をしておかなければ、夏ばての被害は秋口に出てくるのです。実際ズルの被害も10月くらいがもっとも発生件数が多いんです。今年はズルやしこりが秋頃に増えるのではないかと心配しているところです。ということで、今回は少し趣を変えて夏場の暑熱対策のお話をおきたいと思います。

暑熱対策は大きく二つに分けられます。一つは牛舎環境を改善して環境の温度を下げることで、もう一つは、牛さんの体が暑さに負けないように飼養管理の面で助けてあげること、です。まず、畜舎環境の改善では、屋根の断熱による輻射熱の防止と通風の確保が大きな柱となります。屋根材はスレートよりも畜産波板や断熱ガルバリウム材の方が断熱効果は高いです。もしもスレート屋根でしたら、屋根面に白ペンキや断熱塗料、石灰などを塗布することで2～3 程度は畜舎温度が下がります。また、もしも水が豊富に使えるようであれば、屋根にスプリンクラーを設置するのもスレート屋根では効果的です。

もう一つの柱となる通風ですが、自然の風で足りないようであれば直下型ファンや斜め45°のファンを設置してあげます。直下型ファンの場合、床を乾かしたり風の流れて牛さんを冷やす働きは強いのですが、空気の流れはあまり作れないので牛舎のアンモニア濃度が上昇する場合があります。こういう場合には、畜舎の屋根の最も高いところに真横向きに風を抜いてやるファンを数台設置してあげると換気や畜舎温度の低下にも効果が高いです。

断熱というと、畜舎だけでなくウォーターカップのパイプラインとか飼料タンクのことも考えてあげましょう。せっかく暑くてのどが渴いてもウォーターカップからお湯しかでなければ、飲みたくないでしょ？それに夏場は暑さと強い紫外線で飼料タンクの中の飼料が傷みがちです。できればタンクは日陰に設置してやる、断熱塗料を塗ってやる、夏場は一度にとる飼料の量を減らして、タンクに長期間入っていないようにする、などの対策を考えてあげましょう。特に肉色の悪い農家さんは早めに対策を売っておきましょうね。

さて、次に牛さんへのアプローチですが、暑いと肝臓が弱ります。もちろん血液検査



で解るほどではないんですけどね。ですから先月の「一言」でも書きましたが、パンカルG散のような強肝剤やビタミンE剤を与えると夏バテの予防に効果的です。パンカルG散は1日 100g、ビタミンE剤はビタミンEとして300～500mgを、それぞれ3日から1週間程度与えます。

それから暑い時期はビタミンAの消耗が激しくなります。人間も夏バテ防止にウナギを食べるでしょ？あれは、ウナギのビタミンAが効いているんです。特に中期から後期の牛さんはビタミンA欠乏が起こりやすいので気をつけて観察しておいて下さい。中期の牛さんにはあまりビタミンAを与えたくないかもしれませんが、熱射病を発症してしまうとズルやシコリ、ヘタをすると急死などを起こすこともあるので、欠乏症のときにはきちんと補充してあげましょう。僕は、熱射病予備軍(元気がなく、呼吸が荒いとかヨダレを垂らす、などの症状がある)の牛さんには、デュファフルル・マルチという20ml中にビタミンA30万単位を含んだ注射を打ってあげます。この注射には、疲労回復などにも効果があるビタミンB群も含まれているので元気もでますよ。ビタミンA欠乏が進んだ牛さんには、静脈注射でも投与しますが、牛さんが倒れることもあるので獣医さんに打ってもらったほうがよいでしょう。

また、夏場は第一胃の発酵が乱れやすく、その発酵熱も内側から牛さんをいじめます。外と中から暑さに責められたら熱射病を起こして当然ですよ。ですから、食欲不振や軟便、被毛の失沢などの症状が現れたらトルラミンなどの第一胃改善剤やソフトシリカやゼオライトなどの吸着剤を給与してあげましょう。アースジェネターなどの生菌剤の給与を続けておくと、第一胃の発酵異常などを起こしにくいので夏バテ防止にもとても効果があります。

あと、夏場は反芻率も低下するので粗飼料の質には特に注意しましょう。粗飼料の質が悪いと食い込んでくれません。そうすると反芻や第一胃運動が低下しますから食欲もさらに低下する、という悪循環に陥ります。この時期はカビも生えやすいですからね。カビ毒というのも肝臓などを傷めるので夏バテ症状は特にひどくなりますよ。

繰り返しになりますが、夏バテの本番は秋口です。いまのうちにしっかり牛さんのコンディションを整えておいてあげましょう。

